



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場会社名 フジッコ株式会社

上場取引所

東

コード番号 2908 URL <https://www.fujicco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営企画本部長 (氏名) 小段 健男

TEL 078-303-5921

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	13,844	0.1	376	55.3	569	38.7	394	61.3
2026年3月期第1四半期	13,836	△0.7	242	—	410	145.1	244	272.3

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 74百万円 (△85.6%) 2026年3月期第1四半期 514百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	13.85	—
2026年3月期第1四半期	8.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	79,367	69,137	87.0
2026年3月期	80,089	69,686	86.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 69,077百万円 2026年3月期 69,621百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	23.00	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,000	0.9	600	18.5	760	6.5	500	△34.5	17.56
通期	57,000	2.6	1,500	2.3	1,800	△5.3	1,240	△13.2	43.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	30,050,759株	2026年3月期	30,050,759株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	1,573,743株	2026年3月期	1,577,443株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	28,474,991株	2026年3月期1Q	28,469,475株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)」が保有する当社株式数が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式には、「株式給付信託(J-ESOP)導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)」が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
3. 補足情報	9
(1) 販売の状況	9
(2) 研究開発活動	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかな回復傾向にあるものの、中東情勢の影響や金融・資本市場の変動等により、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、物価高騰を背景とした消費者の節約志向は根強く、依然として厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、当グループにおきましては、中期経営計画2年目にあたり、初年度の成果及び課題を踏まえ、基本方針を「従業員の力を結集させ、昆布と豆のお客様満足度を高めるとともに、第三の柱としてヨーグルトの成長を加速させる」に見直しました。改めて「お客様第一主義」を経営の中心に据え、お客様の声を価値に変える「VOICE to VALUE活動」を今年度から開始し、引き続き、お客様から選び続けていただける商品づくりに取り組んでまいります。

販売面では、豆製品、惣菜製品、デザート製品が前年実績を下回ったものの、ヨーグルト製品、昆布製品が前年実績を上回り、売上高は138億44百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。

利益面では、売上高が前年同四半期を上回ったことに加え、一部製品の価格改定効果等により収益性が改善し、営業利益は3億76百万円（前年同四半期比55.3%増）となりました。経常利益は5億69百万円（前年同四半期比38.7%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は3億94百万円（前年同四半期比61.3%増）となりました。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

惣菜製品は、包装惣菜、日配惣菜ともに前年実績を下回りました。包装惣菜は、4月に創作惣菜「ピリッと味わい」シリーズを新発売し、「おぼんざい小鉢」を含むカップタイプの惣菜が順調に販売を伸ばしたものの、袋タイプの「おかず畑」や「朝のたべるスープ」が低調に推移しました。日配惣菜は、不採算取引の解消や販売チャネルの転換で新規取引先の開拓に取り組みました。当連結会計年度より損益計算書を連結したタイの子会社は、主力である茎わかめやカレー、とんかつ等の業務用冷凍惣菜の販売を中心に売上に寄与しました。なお、2025年8月29日付で連結子会社であった株式会社フーズパレットの全株式を譲渡したことで、同社の業績影響が除外されるため、惣菜製品全体の売上高は前年通期実績を上回る見込みであります。

昆布製品は、前年実績を上回りました。主力のカップ佃煮「ふじっ子煮」は、前年実績を上回って堅調に推移しました。塩こんぶは、市場における供給動向の変化を背景に受注が増加し、販売を大きく伸ばしました。プロモーションにおいても、6月より需要創造企画として、日本料理「賛否両論」店主である笠原将弘氏とのコラボレーションにより夏向けの冷製レシピを考案し、新たな食べ方を提案しました。

豆製品は、前年実績を下回りました。煮豆は、市場の縮小傾向に加え、4月の価格改定による物量の減少もあり、前年実績を下回りました。一方、水煮・蒸し豆は、業務用の蒸し豆が価格改定後も販売を伸ばし、前年実績を大きく上回りました。

ヨーグルト製品は、「カスピ海ヨーグルト」シリーズが好調に推移し、前年実績を上回りました。「カスピ海ヨーグルト リッチモ プレーン」をはじめとする同シリーズを対象に、独自の食感とおいしさを訴求する「もっと！とろお〜もっちキャンペーン第2弾」を実施し、TVCM等を通じて幅広い世代への認知拡大を図りました。

デザート製品は、再発売を望むお客様の声を反映して期間限定商品「フルーツセラピー ゴールデンパイナップル」をリニューアル発売するとともに、付加価値販売の方針で取り組みました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億21百万円減少し、793億67百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億96百万円増加し、365億22百万円となりました。これは主に、期末配当金の支払等による現金及び預金の減少があった一方で、原料仕入れの増加に伴い原材料及び貯蔵品が増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ9億17百万円減少し、428億45百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減価償却が進んだことや、保有する投資有価証券の時価評価が低下したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ72百万円減少し、86億76百万円となりました。これは主に、原料仕入れに伴う買掛金の増加及び未払消費税等の増加があった一方で、未払金の支払による減少等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ99百万円減少し、15億53百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億49百万円減少し、691億37百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があった一方で、配当金の支払を通じた利益剰余金の減少、その他有価証券評価差額金の減少等によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の86.9%から87.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月13日に公表した2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年7月31日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,249	9,958
売掛金	10,173	9,939
商品及び製品	1,544	1,702
仕掛品	384	429
原材料及び貯蔵品	13,509	13,800
未収還付法人税等	2	—
その他	478	707
貸倒引当金	△17	△14
流動資産合計	36,326	36,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,245	41,274
減価償却累計額	△27,499	△27,778
建物及び構築物（純額）	13,746	13,495
機械装置及び運搬具	34,819	34,896
減価償却累計額	△25,738	△26,207
機械装置及び運搬具（純額）	9,080	8,688
工具、器具及び備品	2,327	2,333
減価償却累計額	△1,732	△1,771
工具、器具及び備品（純額）	594	561
土地	11,566	11,675
建設仮勘定	235	148
有形固定資産合計	35,223	34,570
無形固定資産		
のれん	321	300
その他	558	533
無形固定資産合計	880	833
投資その他の資産		
投資有価証券	5,165	4,786
繰延税金資産	220	347
その他	2,279	2,313
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	7,659	7,440
固定資産合計	43,762	42,845
資産合計	80,089	79,367

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,035	4,415
未払金	3,617	2,966
未払法人税等	—	117
未払消費税等	—	202
賞与引当金	503	128
預り金	54	261
その他	538	585
流動負債合計	8,748	8,676
固定負債		
退職給付に係る負債	497	481
従業員株式給付引当金	138	130
その他	1,017	941
固定負債合計	1,653	1,553
負債合計	10,402	10,230
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	1,006	1,006
利益剰余金	62,498	62,238
自己株式	△3,035	△3,027
株主資本合計	67,035	66,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,445	2,182
為替換算調整勘定	9	△22
退職給付に係る調整累計額	130	134
その他の包括利益累計額合計	2,585	2,294
非支配株主持分	65	59
純資産合計	69,686	69,137
負債純資産合計	80,089	79,367

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	13,836	13,844
売上原価	9,658	9,816
売上総利益	4,178	4,028
販売費及び一般管理費	3,936	3,652
営業利益	242	376
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	140	156
受取賃貸料	15	16
売電収入	19	17
その他	8	20
営業外収益合計	184	212
営業外費用		
支払利息	0	2
賃貸費用	4	3
売電費用	8	8
為替差損	—	4
その他	3	0
営業外費用合計	16	18
経常利益	410	569
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産処分損	13	10
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	13	10
税金等調整前四半期純利益	398	559
法人税、住民税及び事業税	111	189
法人税等調整額	41	△6
法人税等合計	153	183
四半期純利益	244	376
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	—	△17
親会社株主に帰属する四半期純利益	244	394

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	244	376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	273	△263
為替換算調整勘定	—	△42
退職給付に係る調整額	△2	3
その他の包括利益合計	270	△302
四半期包括利益	514	74
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	514	80
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△6

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	873百万円	893百万円
のれんの償却額	一百万円	16百万円

（セグメント情報等の注記）

当グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場の類似性から判断して同様・同系列の加工食品を専ら製造販売している単一セグメントであり、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円)

製品情報	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)		増減額	(参考) 前連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
惣菜製品	4,716	34.1%	4,543	32.8%	△173	17,655	31.8%
昆布製品	3,867	28.0%	4,091	29.6%	224	16,348	29.4%
豆製品	2,338	16.9%	2,152	15.5%	△185	10,146	18.3%
ヨーグルト製品	1,727	12.5%	1,962	14.2%	234	7,081	12.8%
デザート製品	641	4.6%	594	4.3%	△46	2,166	3.9%
その他製品	545	3.9%	500	3.6%	△45	2,135	3.8%
合計	13,836	100.0%	13,844	100.0%	7	55,534	100.0%

(注) 増減額は、当第1四半期連結累計期間と前第1四半期連結累計期間との比較で表示しております。

(2) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2億80百万円であります。